

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第4回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成24年10月11日（木）午後6時30分 ～ 10時
開 催 場 所	市民会館（さくらホール）展示室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）渡辺龍也、奥原せつ子、伊東理年、比留間英世、高橋茂明、北口良夫、本間由美子、内野正利、下田光男 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	第3回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について
議 題	議題1 武蔵村山市協働事業提案制度の提案事業の第二次審査について 議題2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 武蔵村山市協働事業提案制度の提案事業の第二次審査について 提案団体によるプレゼンテーションを2団体実施した。 提案事業について各委員が評点を付して、採択又は不採択すべき事業について協議した。 議題2 その他 第5回会議は10月29日（月）午後7時から開催する。開催場所については後日各委員に通知する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) □印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局 ◎印：提案団体	報告事項 第3回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について ●第3回武蔵村山市市民協働推進会議の会議結果の報告の前に、本日、傍聴人が1名いるが、武蔵村山市市民協働推進会議の「会議の公開に関する運営要領」の第5条の規定に基づき、会議の開会前に座長の許可を受けているので報告する。本日配布した第3回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録については内容の確認をお願いする。修正等があれば10月19日（金）までに事務局まで連絡をいただきたい。連絡がない場合については、会議録の承認とみなしホームページ等で公開する。 議題1 武蔵村山市協働事業提案制度の提案事業の第二次審査について（提案団体による企画発表） ●事務局から次第1頁目を基に説明。 □事務局の説明に対し、各委員意見等はあるか。 -意見なし- 団体名：グラシオス プラント パートナー 事業名：小学生への花育と豊かな環境作り事業 -提案団体による企画発表- 質疑応答 ○今年度は事業を実施した学校は3校だが、来年度は何校で事業を実施するのか。また、事業の内容は今年度と同様か。 ◎当初の予定では9校で事業を実施する予定だったが、教育委員会との調整の結果、3校になった経緯があるので、来年度についても教育委員会との調整の結果次第だが3校で実施することになると思う。次に事業の内容についてだが、各学校の生徒の学年が統一されておらず、学年に適した教え方が上手くできなかったため、来年度は各学年に適した教え

方をしていきたい。また、各学校で花のメンテナンスが上手くできなかったので、メンテナンスの指導を充実させていきたい。

○事業を実施した学校を拝見したが、花が植えているだけになっており、子どもたちが花を育てている感じがしなかった。今年度、事業を実施した学校には来年度にメンテナンス指導はしないのか。

◎学校側からメンテナンスの要望があれば対応していきたい。

○夏休み中は全くメンテナンスしなかったのか。

◎学校側にはメンテナンスの方法等は指導したが、学校側がメンテナンスをしなかった。

□今年度、事業を実施した3校は要望があればメンテナンスすることだが、学校が自立して花育をできるような体制づくりが大切だと思うが、そのような体制ができるような工夫は考えているのか。

◎花育の対象が学年単位になっているので、全校生徒に周知できない状況であるため現段階では難しいが、今年度事業を実施した3校の内、2校は栽培委員会が発足されているので、栽培委員会に継続して花育事業を実施していただければと思う。

□栽培委員会は今回の事業がきっかけで発足されたのか。

◎事業を実施する前から発足されている。

○栽培委員会とはどんな組織なのか。

◎専門の先生と花育をやりたい生徒が集まって組織され、放課後の時間を利用し花育活動をしている。

○今年度、事業を実施した3校の内、栽培委員会が発足されていなかった1校が3年生の授業の一環として行っていたが、本当に花育をやりたい生徒にやらせないと意味がない。学校側の意見を聞き過ぎている。また、栽培委員会が発足されていない学校には組織をつくるよう積極的に促してもらった方がよい。

◎多くの方に花育を広めていきたいので、来年度からは授業の一環としては事業を実施しない。

○来年度も各学校の花の植え込みは1回だけなのか。

◎各学校の都合もあるので、植える回数は増やさずに長い期間咲いている花を植えてもらえるようにしていきたい。

□教育委員会とは密接に連携しているのか。

◎打合せ等は定期的に行っている。

□教育委員会との調整の結果事業を実施する学校が3校になったが、当初予定していた9校より3校でよかったと思うか。

◎当初は9校で3年間実施する予定だったので、毎年、事業を実施した学校を見ることができた予定だったが、3校になった結果、年度毎に事業を実施する学校が違うため、事業実施後のメンテナンス等の課題ができてしまった。

○6名の会員がいるが、どのような経歴及び資格をもっているのか。また、予算書の中の人件費の詳しい内訳を教えてください。

◎6名の会員のうち2人は花育指導をできる資格を持っている。その他4人については資格をもっていないが、毎月数回イベント等で指導を行っているため、花育の指導者としてのレベルには達していると考えている。また、人件費については時給1,000円で計算をしている。

○時給1,000円は妥当な金額なのか。

◎一般的な金額は把握していないが、花のイベント等で呼ばれる際の時給は1,000円より高い。

○打ち合わせや、植え込み作業の時給が一律1,000円なのは妥当な

のか。
◎仕事の内容が違うのに時給が一律なのはおかしいので、修正したいと思う。
○各学校に植え込み指導等で行ったのは何回か。
◎打合せに1回と植え込み指導で1回の合計2回である。
○植え込み後のメンテナンスの指導は電話だけなのか。
◎今年度は電話のみである。
○人件費として129,000円計上しているのであれば、電話だけではなく、もっと小まめに足を運んでメンテナンス指導した方がよい。
◎会員と調整し、改善していきたい。
●以上でグラシオス プラント パートナーからの企画発表に係る質疑を終了する。

団体名：社団法人 立川青年会議所

事業名：みんなで挑戦 未来の自分に自信と誇りを（仮称）

－提案団体による企画発表－

質疑応答

□提案書を作成する段階で本日のプレゼンテーションの内容は決まっていなかったのか。

◎ギネス記録に挑戦する方向性は決まっていたが、ギネス記録に挑戦するまでの詳細なスケジュール等は決まっていなかった。

□本日のプレゼンテーションを拝見し、どんな事業をやりたいか初めて理解できたが、提案書には抽象的な内容ばかりで具体的な内容が記載されておらず、昨年度採択されたから今年度も採択されるだろうという安易な考えが伝わり非常に残念である。

○育成プログラムの内容はなにか。

◎記録が伸び悩んだ時期に合わせて、いろいろな課題の克服方法やチーム力を高める方法などを2回実施したいと考えている。

○目標を達成したか達成していないかの明確な評価基準はなにか。

◎ギネスに挑戦することで一つの結果がでる。また、ギネス挑戦後の10月にも事業を通して子どもたちがどう成長したか発表する場を設けたい。

○ギネス認定師の派遣に1,200,000円かかるのか。

◎事前申請などの費用込みで1,200,000円かかる。また、ギネス認定師は日本に数人しかいない。

○予算の中に講師関係の費用として200,000円計上されているが、なわとびの指導の講師なのか。それとも教育関係の講師なのか。

◎ギネス記録を更新するのは、すごく難しいことなので、オリンピック選手やパラリンピック選手などの成功者を講師として招き、大きな記録にチャレンジする精神力やチーム力などを講演という形ではなく、子どもたちと一緒にプログラムに参加して教えてもらいたいと考えている。

○ギネス記録にチャレンジするなわとびの種目は何か。また、現段階でのギネス記録はいくつなのか。

◎なわとびの種目は八の字とびである。また、ギネス記録は1分間で213回である。

○年齢に関係なく213回がギネス記録なのか。

◎そのとおりである。

○事業の目的で「地域に貢献できる機会がもてる」とあるが、なわとび

を実施してこの目的が達成できるか。

◎市内9校に担当者を張り付けて事業を実施していきたいと考えている。子どもたちから見ると、地域の大人が放課後に一緒になわとびの練習を手伝ってくれたと思ってもらえる。そのような子どもたちが大人になったときに、今度は自分たちが地域の子どもたちに何かできないかと思ってもらえるようになると考えている。

○練習の頻度はどの程度か。

◎現段階ではいくつかの学校に話はしており、年度明けの新学期とともに練習はスタートをする。主に放課後の時間を活用するが、夏休みも有効に活用していきたいと考えている。

□提案書に「地域の課題を解決」とあるが、武蔵村山市にはどのような課題があるのか。

◎武蔵村山市だけに限らないが、私たちの幼少期には地域のイベントで地域の大人たちが関わってくれたが、現在は大人たちが子どもたちに関わっていく機会が少ないことが課題だと思っている。

○ギネス記録に挑戦した際に記録は更新できると思うか。

◎現段階では非常に高いハードルで簡単には更新できないと思っている。

●以上で社団法人 立川青年会議所からの企画発表に係る質疑を終了する。

(採択する協働事業の選定及び通知について)

□本会議では提案事業の審査に係る審議、検討又は協議に関する情報を非公開情報として取扱うこととしているので、ここから会議を非公開とする。傍聴人には退席をお願いします。

□それでは、各委員に提案事業ごとに評点を付していただき、事務局に提出願いたい。事務局集計中、会議は休憩時間とする。

●事務局集計結果を座長へ報告

-非公開-

(採択優先順位について)

□何を基準に優先順位を決めるか。

○協働型事業と団体育成型事業の満点合計が違うため、第二次審査の満点合計の得票率の高い順でよいのではないか。また、客観的な数字でないと説明できないと思う。

□それでは、採択優先順位の基準については、第二次審査の満点合計の得票率の高い順ということによいか。

-異議なし-

□それでは、採択優先順位順で発表する。事業番号24-1、事業番号24-2、事業番号24-4、事業番号24-5、事業番号24-3の順で採択することとする。

議題2 その他

□第5回会議は10月29日(月)午後7時から開催する。

